

EAビルダー

AUTOMATED
TRADING
FOR A BETTER TOMORROW

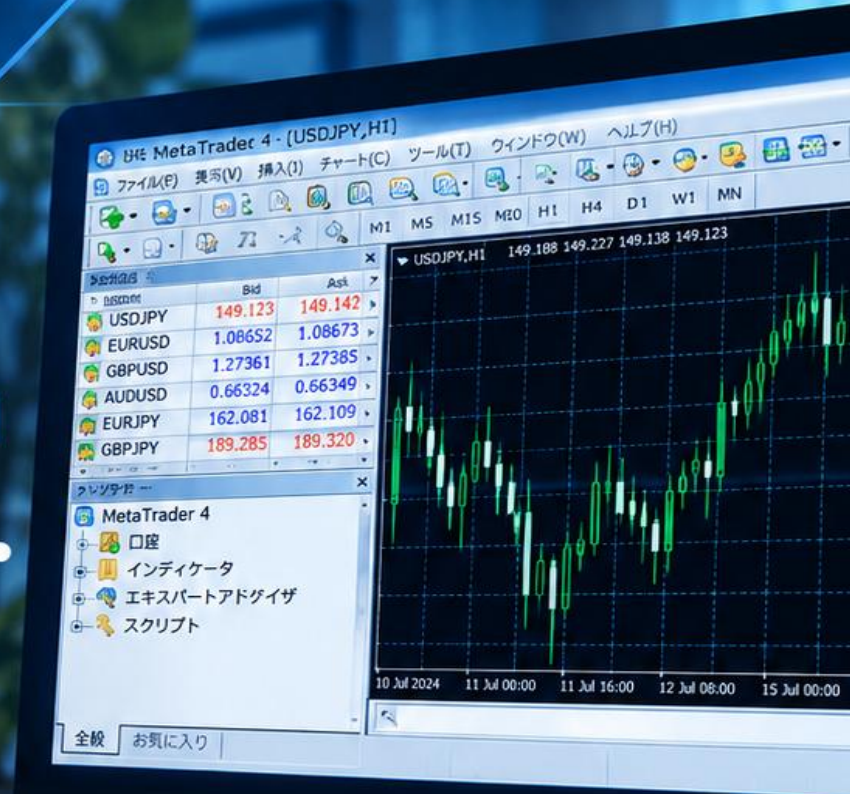
プログラミング不要で
あなただけのEAを作成

MetaTrader 4

MT4

導入・コンパイル・ バックテスト マニュアル

ダウンロードしたMQL4をMT4で動かし
バックテスト結果を確認するまでの手順を
実画面でやさしく解説



EAをMT4に
導入する



コンパイル
する



バックテスト
を実行する



結果を分析
する

SIMPLE
POWERFUL
FLEXIBLE

Trade Your Ideas →

アイデアを、現実のトレードへ。

EAビルダー 公式マニュアル

株式会社サイバーネット

目次

1. MT4 のデータフォルダを開く	- 3 -
2. MQL4 → Experts へ EA をコピー	- 4 -
3. MetaEditor で EA を開く	- 5 -
4. F7 でコンパイルする	- 6 -
5. ストラテジーテスターを開く	- 7 -
6. EA のパラメーターとテスト条件を確認.....	- 8 -
7. バックテストを実行する	- 9 -
8. 「結果」で売買履歴を見る	- 10 -
9. 「グラフ」で資産推移を見る.....	- 11 -
10. 「レポート」で統計値を見る.....	- 12 -
11. バックテストレポートを保存する.....	- 13 -
初心者向けチェックリスト	- 13 -

最初に確認

EA ビルダーでは「MT4 (.mq4)」を選んで EA をダウンロードしてください。ダウンロードしたファイル名を確認してから作業を始
めます。

1. MT4 のデータフォルダを開く



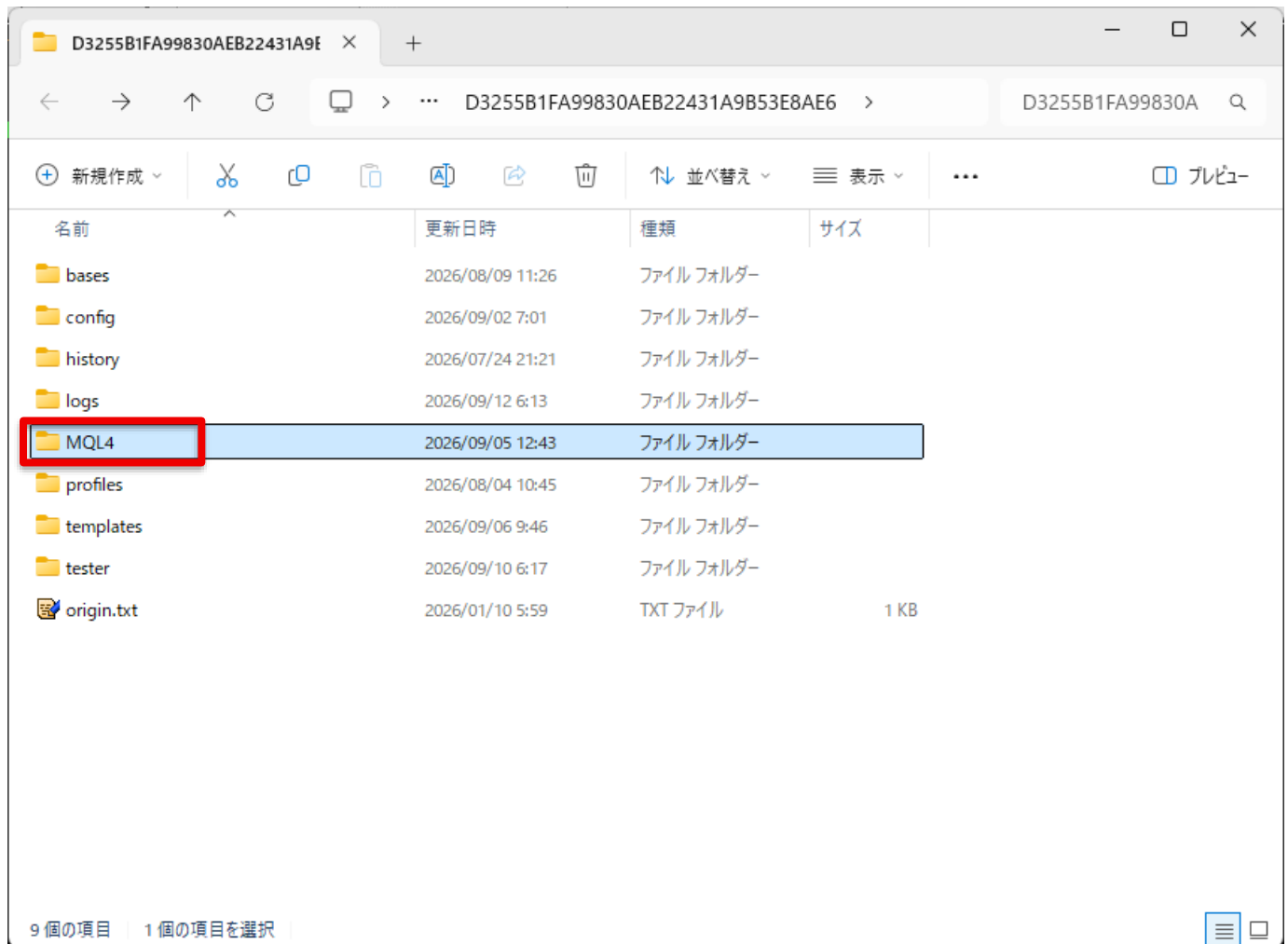
① 「ファイル」 → ② 「データフォルダを開く」

1. MT4 上部メニューの「ファイル」をクリックします。
2. 表示されたメニューから「データフォルダを開く」をクリックします。
3. Windows のエクスプローラーで MT4 専用データフォルダが開きます。

注意

MT4 のインストール先フォルダではなく、「データフォルダを開く」から表示された場所を使用してください。

2. MQL4 → Experts へ EA をコピー

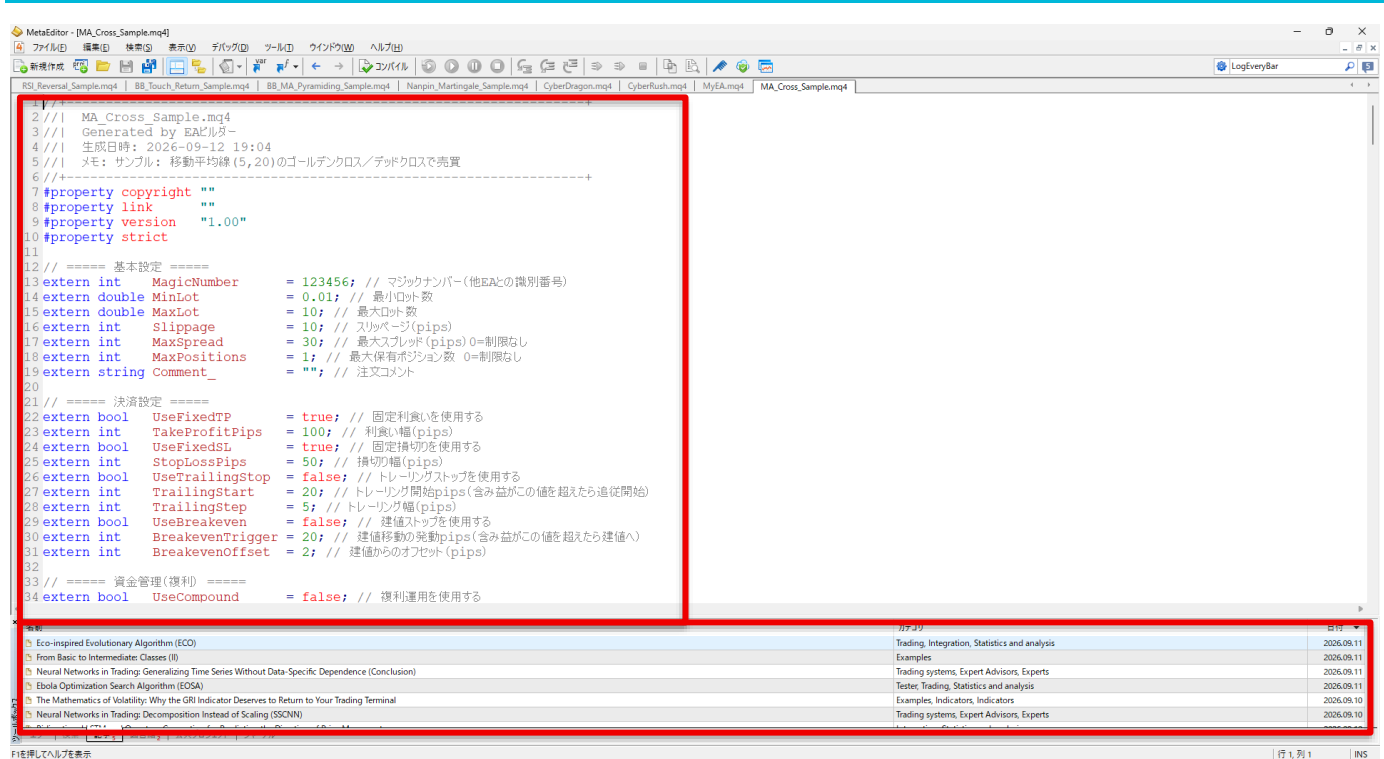


データフォルダ内の「MQL4」を開く

続いて「Experts」を開く

4. MQL4 フォルダを開きます。
5. その中の Experts フォルダを開きます。
6. EA ビルダーからダウンロードした .mq4 ファイルを、この Experts フォルダへコピーします。

3. MetaEditor で EA を開く



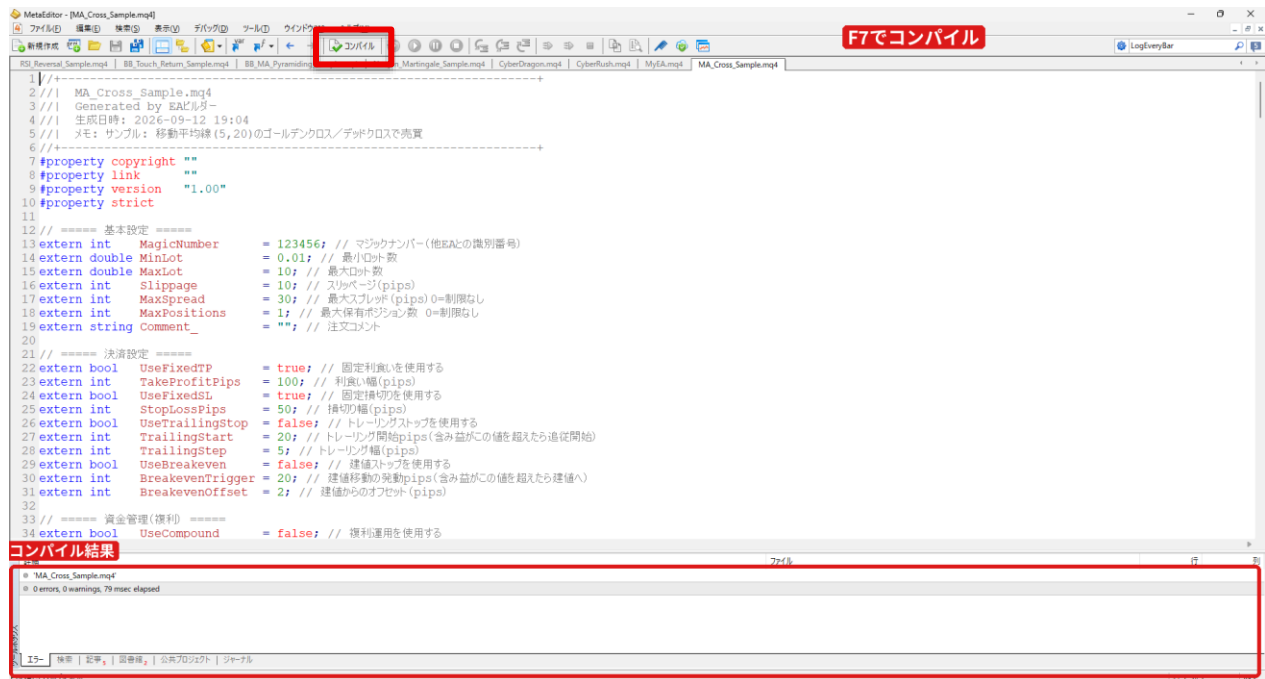
EA の MQL4 ソースを MetaEditor で開いた状態

Experts へコピーした EA を MetaEditor で開きます。中央に MQL4 ソースコードが表示されます。画面下部はコンパイル時のエラーや警告を確認する重要な場所です。

ここを見る

ソースコードを手作業で変更しない場合でも、コンパイル後に画面下部のエラー件数を必ず確認します。

4. F7 でコンパイルする



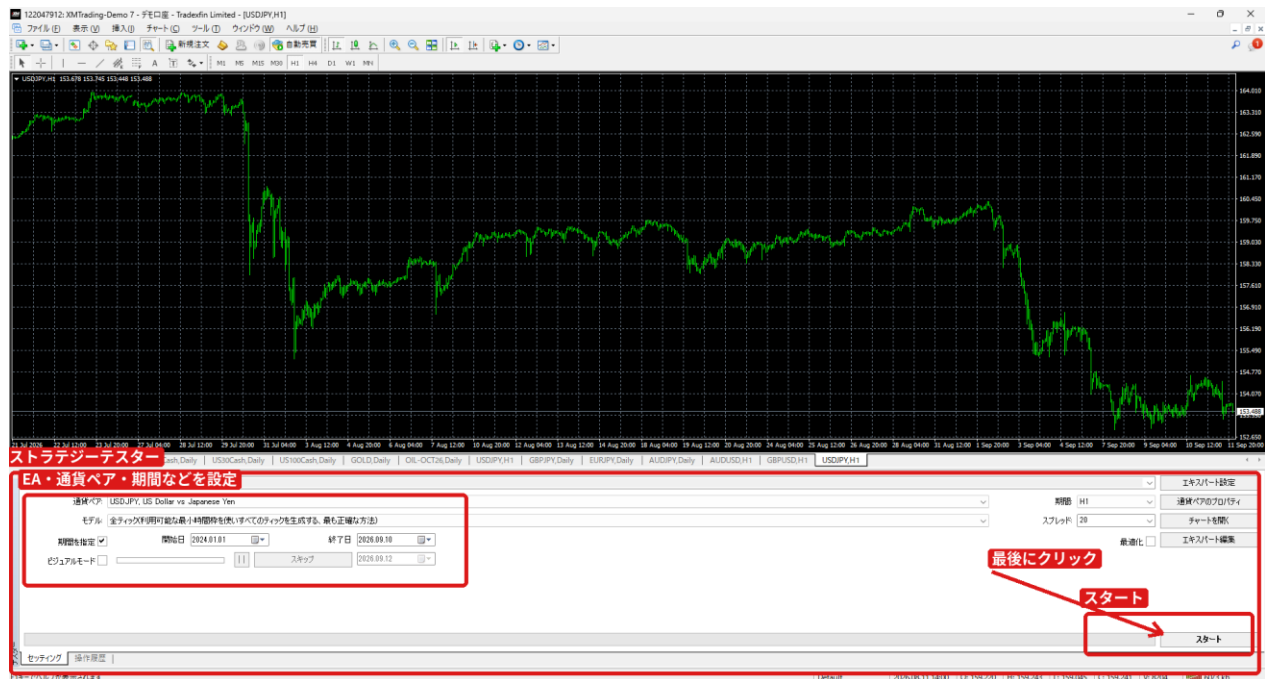
F7 コンパイル後。下部の結果欄を確認

7. MetaEditor で EA を開いた状態でキーボードの F7 を押すか画面上部の「コンパイル」をクリックします。
8. 画面下部のコンパイル結果を確認します。
9. エラーが 0 件なら、MT4 で実行できる EA として利用する準備が整います。

エラーが出た場合

エラーが 1 件以上ある場合は、そのままバックテストへ進まず、エラー内容を確認してください。EA ビルダーから再生成した場合は、古いファイルと取り違えていないかも確認します。

5. ストラテジーテスターを開く

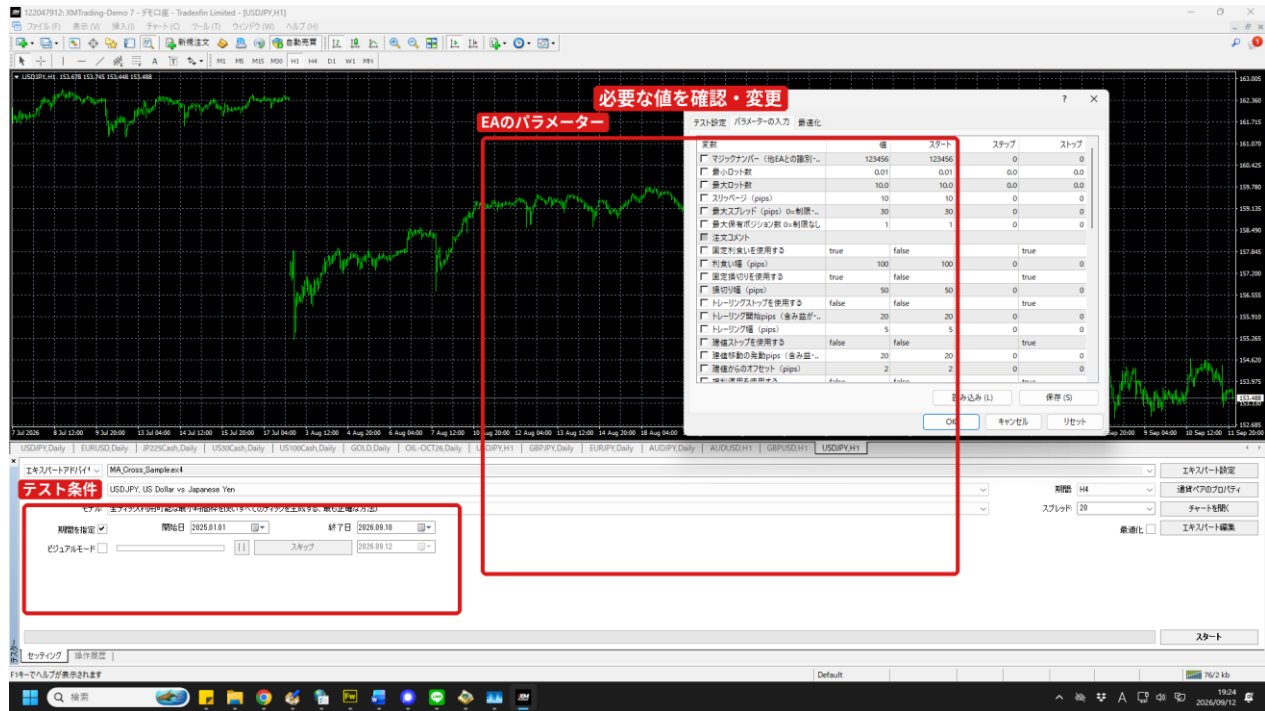


MT4のストラテジーテスター

MT4に戻り、ストラテジーテスターを表示します。画面下部にテスターが現れます。ここで EA、通貨ペア、期間などを指定します。

10. 「エキスパートアドバイザー」で作成した EA を選択します。
11. 通貨ペア（例：USDJPY など）を選択します。
12. 期間・モデル・テスト期間などを設定します。
13. 設定を確認して「スタート」をクリックします。

6. EAのパラメーターとテスト条件を確認



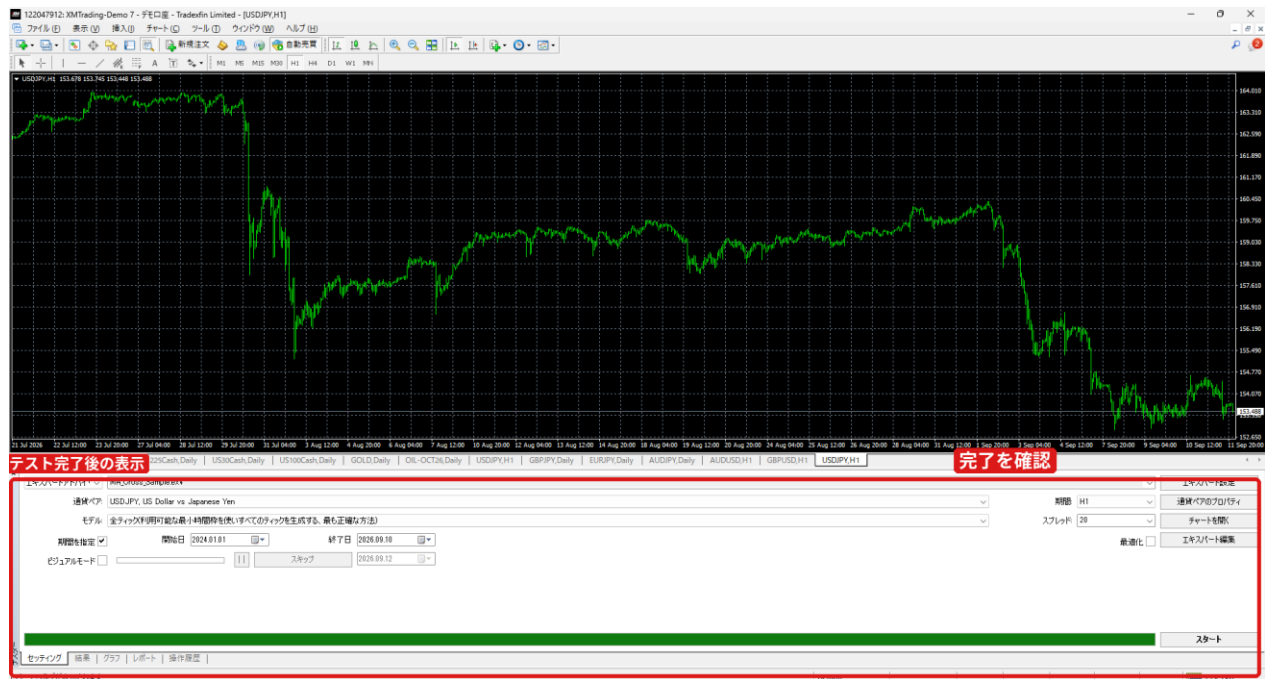
EAのパラメーター設定画面

EAビルダーで設定したロット、利確・損切り、各種条件が入力値として表示される場合があります。バックテスト前に意図した値になっているか確認します。

比較テストのコツ

条件を比較するときは、通貨ペア・時間足・期間を同じにして、変更したいパラメーターだけを変えると違いを判断しやすくなります。

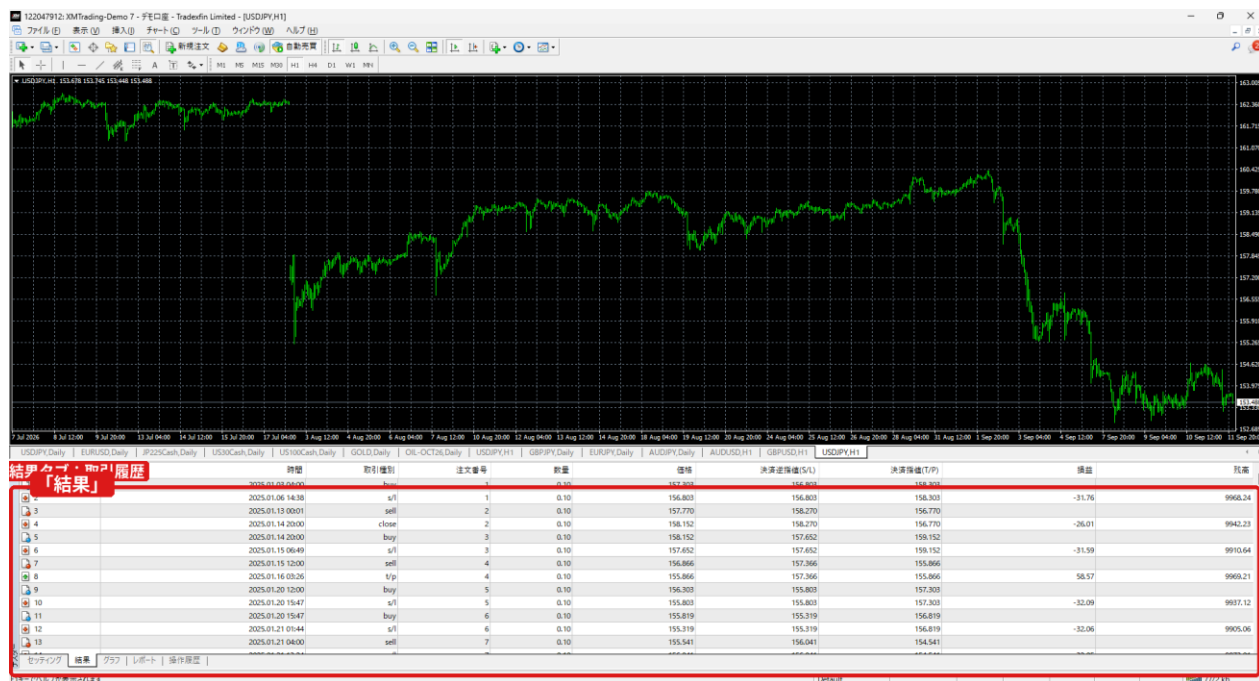
7. バックテストを実行する



バックテスト終了後の画面

「スタート」を押すとバックテストが始まります。完了すると、テスター下部の各タブから結果を確認できるようになります。取引回数が0の場合は、売買条件・期間・通貨ペア・時間足などを見直してください。

8. 「結果」で売買履歴を見る



結果タブでは個々の注文・決済を確認

「結果」では、バックテスト中に発生した注文・決済の履歴を時系列で確認します。想定した方向でエントリーしているか、決済が行われているかを確認するのに向いています。

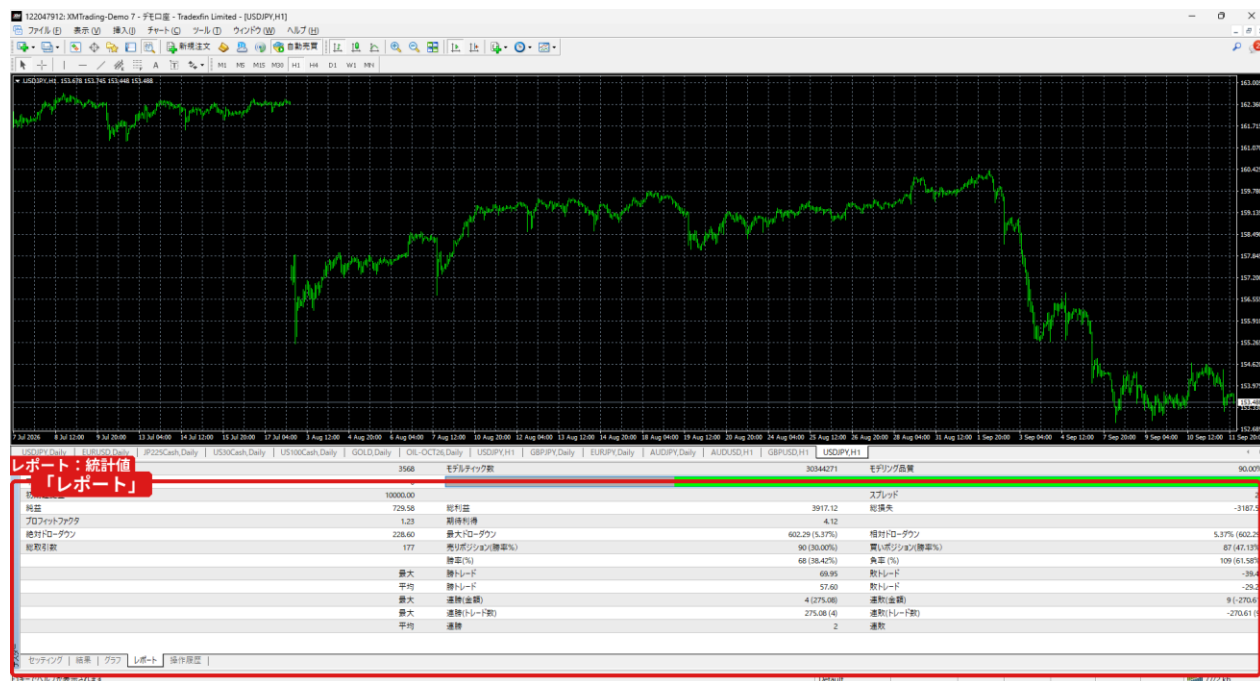
9. 「グラフ」で資産推移を見る



グラフタブで資産曲線を確認

最終損益だけでなく、途中でどの程度落ち込んでいるか、急激な上下がないかを確認します。右肩上がりに見えても途中の大きな落ち込みを見逃さないことが重要です。

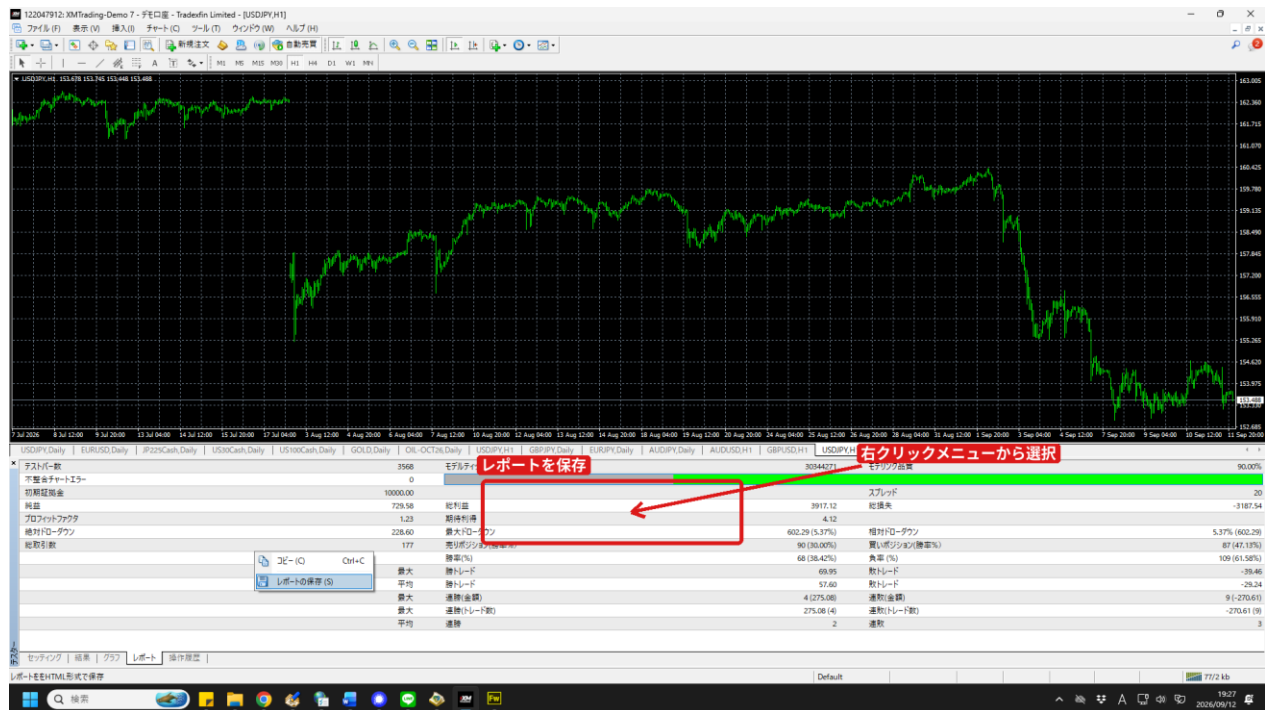
10. 「レポート」で統計値を見る



レポートタブで統計値を確認

レポートには損益、取引回数、勝敗、ドロウダウンなど、EA を評価するための統計情報が表示されます。1 つの数値だけで判断せず、取引回数と損失の大きさも合わせて確認します。

11. バックテストレポートを保存する



テスト上で右クリックし、レポート保存を選択

結果を後から比較したい場合はレポートを保存しておく便利です。EA名、通貨ペア、時間足、テスト期間が分かる名前で保存すると管理しやすくなります。

初心者向けチェックリスト

14. .mq4 を MQL4/Experts に入れた
15. F7 コンパイル後にエラーを確認した
16. テスターで正しい EA を選んだ
17. 通貨ペア・期間・時間足を確認した
18. 取引回数が極端に少なくないか確認した
19. グラフの大きな落ち込みを確認した
20. レポートの統計値を確認した

重要

バックテスト結果は将来の成績を保証するものではありません。実運用前には、条件を変えた複数のテストやデモ環境での確認も行ってください。